

聴覚障害者及び視覚障害者のための大学 筑波技術大学ニュース

第 20 号

発行日：2011年 7 月

www.tsukuba-tech.ac.jp



国立大学法人

筑波技術大学

● 平成 23 年度入学式を挙行

4 月 13 日水曜日 本学天久保キャンパス講堂において入学式を行いました。

平成 23 年度入学式は、3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響などを踏まえ、1 週間延期しての開催となりました。午前 11 時から行われた入学式では、学部 82 名（産業技術学部 50 名、保健科学部 32 名）及び大学院技術科学研究科 6 名（産業技術学専攻 3 名、保健科学専攻 3 名）の入学が許可され、村上学長の式辞、両学部入学生代表による入学宣誓に続き、来賓のつくば市細田市長、財団法人全日本ろうあ連盟石野富志三郎理事長からそれぞれ祝辞がありました。

（総務課 矢内 理恵子）



式辞を述べる村上学長

● 就職ガイダンスを開催

5 月 11 日水曜日に、天久保キャンパス 214 教室において、聴覚障害系就職委員会主催による、第 1 回就職ガイダンスを開催しました。主対象を 3 年生として、障害者高等教育研究支援センターの石原教授による「就職活動の手順」についてのセミナーに、3 年生 35 名が参加しました。

リーマンショック以降の就職活動に対する大変厳しい現状と、東日本大震災の影響、そしてこれから就職活動をいかにして進めていくかを説明されると、受講学生は熱心に聞き入っていました。自己分析や会社等の情報収集の方法、



就職ガイダンスの様子

入社試験の対策など、今後自発的に行っていかなければならない就職活動の準備についての説明は、これから準備を始める学生にはもちろん、すでに準備を始めている学生にとっても、大変参考になるものでした。

はじめに、就職活動には大きく 2 つ、学校推薦と自由応募がありますが、いずれの場合も、それぞれのコースの就職担当の先生とよく相談をし、早めに行動しはじめることが重要であることや、情報の収集においては、インターシップや教員、先輩などからの情報、Web の利用、就職資料室の利用、会社説明会・見学会等、あらゆることを全部行うことが必要である旨の説明がありました。

つぎに、企業が行う入社試験の種類、企業における採用区分と雇用形態、職種等についての詳細な説明があり、また就職活動に際して、自分に合った就活ハウツー書籍を購入して一般的な就活の流れを理解しておくことが大事である旨の指導がなされました。

最後には質問も多く出され、また、ガイダンス終了後も石原教授に質問をしている姿が見受けられました。受講学生の関心の高さが伺えました。

次回ガイダンスは 6 月下旬に予定されています。就職活動に役立つガイダンスを今後とも継続的に開催していく予定です。

（聴覚障害系支援課 本間 陽也）

● 被災地の聴覚障害学生を全国の大学生が支援

筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターに事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) では、東日本大震災で被災した大学のうち、新学期から聴覚障害学生に対する情報保障体制を整えることが困難な大学に対して、「モバイル型遠隔情報保障システム」を活用した情報保障支援を実施している。この取り組みは、東北地区の大学の支援担当者から、被災後の混乱の中、通常の支援体制を整えるのが困難で聴覚障害学生の学業に支障を来すおそれがあるとの状況報告を受けたこと、また、PEPNet-Japan 連携大学機関及び関係者から「被災した東北地区の聴覚障害学生のために何か支援ができないか」という声が集まったことを受け、大学間のネットワークを活用した情報保障支援プロジェクトとして実施するに至った。4月中旬に支援ニーズの把握と支援校の募集及び筑波技術大学の教員による技術指導を行い、5月より支援を実施している。

「モバイル型遠隔情報保障システム」とは、2～3名の入力者が連携しながら話者の言葉を要約して字幕化する「パソコンノートテイク」を、携帯電話の画面に表示させるシステムで、入力者と利用者が離れた場所においても支援できること、大がかりな設備がなくても携帯電話を使用して利用できることの2点が最大の特徴である。

今回は PEPNet-Japan 連携大学である宮城教育大学を含め、宮城県内の四校に対して本支援を実施することとなった。支援側の大学は、同志社大学、群馬大学、札幌学院大学、



入力支援を行う学生の様子

愛知教育大学、日本福祉大学など PEPNet-Japan 連携大学・機関を中心とする 13 大学の協力のもと、6 月中旬までへのべ 250 名ほどの学生が、授業の空き時間等を利用してボランティアで支援を行っている。

この取り組みは、東北地区の大学で前期の授業が終了する 8 月半ばまで実施する予定であるが、今回の被災地支援の実践をもとに、高等教育機関における遠隔情報保障支援の活用可能性が示され、今後活用の幅を広げて行くことも期待される。

(障害者高等教育研究支援センター 白澤 麻弓)

● バウマンモスクワ州立工科大学の「学生による科学技術コンペティション」に参加

本学と学術交流を締結しているロシア共和国のバウマン・モスクワ州立工科大学 (BMSTU) で「学生による科学技術コンペティション - 未来への一歩 -」が開催されました。コンペティションにおいて障害を持つ学生のためのセッションが設けられ、会議ホールの聴衆の前で学生達の研究発表が行なわれました。このコンペティションには筑波技術大学からビデオ会議システムを通して村上学長、産業情報学科学科長の荒木教授、国際交流委員会委員長の須藤教授、他教職員、学生の代表として設計・加工コース青木純也君 (当時 2 年次)、機械システムコース加賀充君 (当時 2 年次) が参加し、学生発表で立派なプレゼンテーションを行ない、BMSTU より表彰されました。

● 本学と BMSTU をテレビ会議システムで結び参加準備

2 月 16 日水曜日、荒木教授、須藤教授、産業情報学科学科生の青木純也君と加賀充君の 4 人が本学とロシア共和国バウマン・モスクワ州立工科大学とをテレビ会議システムで結び 3 月に同大学で開催される「学生による科学技術コンペティション」について準備のための会議を行ないました。

また、このテレビ会議中に、バウマン・モスクワ州立工科大学の CAD クラスに聴覚障害者への教育のための特別なテレビ番組制作を目的として、ロシア共和国国営放送第

1 チャンネルテレビが取材に訪れており、荒木教授からロシアに向けて本学の設計製図教育が紹介されました。

● 「学生による科学技術コンペティション - 未来への一歩 -」において講演発表

3 月 22 日火曜日、BMSTU 会議ホールのスタネフスキー院長の日本の震災へのお見舞いのことばに始まり、村上学長の挨拶講演「筑波技術大学卒業生の就職状況」が BMSTU に向けて行われました。BMSTU では本学と同様聴覚に障害を持つ学生が学んでいます。日本側の講演は BMSTU の会議ホールの大きなスクリーンに映し出され、本学の会場ではロシア側の様子が映し出される中で、青木君は本学と筑波学院大学および中国長春大学との大学間交流として行っている CAD によるペーパーカーの製作とレースについて発表し、加賀君は本学のモデリングを通して学ぶ設計製図教育について発表しました。ロシア側壇上には手話通訳が立ち、発表や意見交換に手話通訳が行われました。ロシアからは 5 名の学生の発表があり、発表の後には活発な質疑応答が行われました。それぞれの発表はレベルが高く、学生にとって非常によい刺激となったようです。本学学生は協調授業の一環として参加しましたが、これからの教育的連携をより深めていくことを約束し、コン

ペティションのビデオ会議を終了しました。

● バウマン・モスクワ州立工科大学より表彰される

4月28日 木曜日、学長室において、本学代表として発表を行った産業技術学部産業情報学科の設計・加工コース青木純也君と機械システムコース加賀充君がBMSTUから表彰され、発表の内容を讃える賞状と記念品が授与されました。また、2人の講演発表に向けて指導された荒木勉教授及び須藤正彦教授にも、教育指導賞が授与され、それぞれ村上学長から賞状が手渡されました。

BMSTUは技術を学ぶ高等教育機関として互いの研究・教育交流を望んでおり、本学の設計製図、CAD教育のCAD/

CAM室の設備や教育法がロシアの聴覚障害の学生にも適していると考え、設備のミラーリングと教育の協調を真に希望しており、今後の両大学の学術交流の発展が期待されております。

● 【講演発表題目と概要】

青木純也：“Paper Car with 2D-CAD”、本学と筑波学院大学および中国長春大学との大学間交流として行っているCADによるペーパーカーの製作とレースについての発表
加賀 充：“Learning through Basic Modeling at NTUT”、本学のモデリングを通して視覚的・体験的に学ぶ設計製図教育についての発表

(総務課 佐久山 晃康)

● リハビリテーション科を新設

本学の保健科学部附属東西医学統合医療センター（電話：029-858-9590）は、東洋医学（鍼灸・漢方）と西洋医学とを統合した、東西医学の体系的・科学的研究を行い、その知見に基づいて優れた医療を提供し、専門家の育成を行う日本でも数少ないユニークな視点の医療施設です。診療科目は内科・小児科・神経内科・整形外科・精神科・漢方内科・心療内科・放射線科があり、また同施設内にある鍼灸施術部門で診療・治療が行われてきました。

このたび、4月5日よりリハビリテーション科を新設し、一層多くの方にご利用頂ける体制としました。整形外科領域や脳血管障害でお悩みの方、その他脳性マヒなど小児のリハビリテーションでお困りの方など、専門的で充実したリハビリテーションが受けられます。週2日（火、木）、本センターの専任医師ならびに専任理学療法士に加え、本学理学療法学専攻の教員が診療にあたります。多数の方にご利用頂けるよう、一同努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。なお、本リハビリテーション科の新設は平成22年度文部科学省特別経費「視覚に障害を持つ



リハビリテーションの様子

医療系学生のための教育高度化改善事業」の一部として実施されました。本学保健科学部の学生およびセンターの研修生は学内施設でリハビリテーション（理学療法）の見学・実習を行うことができ、教育・社会面での効果が期待されています。

(東西医学統合医療センター 中村 直子)

● お知らせ

【平成23年度公開講座実施予定】

● 聾学校での造形教育に関する指導法

開催期日：7月29日（金曜） 9:30～17:00（6時間）

定 員：10名 受講料：6,200円

対 象：聾学校等の美術・図工・デザイン等担当教員等
申込締切：7月8日（金曜）

● 聴覚に障害をもつ高校生を対象とした「コンピュータ・グラフィックス入門」

開催期日：8月3日（水曜）～8月5日（金曜）の3日間
10:00～17:00（18時間）

定 員：10名 受講料：8,200円

対 象：聴覚に障害のある高校生
申込締切：7月8日（金曜）

● CAD基礎講座

開催期日：8月20日、8月27日 の土曜日の2日間
10:00～16:00（10時間）

定 員：10名 受講料：6,200円

対 象：市民一般

申込締切：8月1日（月曜）

● 腰痛予防のための健康ストレッチ

開催期日：8月27日（土曜） 10:00～16:00（5時間）

定 員：10名 受講料：5,200円

対 象：市民一般

申込締切：8月5日（金曜）

● 医師のための鍼灸実践講座

開催期日：9月4日、10月2日、11月6日の日曜日の
3日間 10:00～15:00（12時間）

定 員：10名 受講料：7,200円

対 象：医師、歯科医師

申込締切：8月12日（金曜）

● 聴覚に障害を持つ方のためのITパスポート試験対策講座

開催期日：8月20日～10月16日の期間（30時間）

定 員：10名 受講料：10,200円

対 象：全国の聴覚障害者

申込締切：7月29日（金曜）

平成 23 年度大学説明会の実施について

産業技術学部

実施地区	実施日	会場名	場所	最寄り駅
関西地区	7月3日(日)	新梅田研修センター	大阪府大阪市	大阪駅
オープンキャンパス	8月6日(土)	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
授業見学会	11月11日(金)	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅

備考 上記の3会場のほかに、ミニ説明会の開催希望を特別支援学校(聾学校)及び聴覚障害関係団体等に照会し、ミニ説明会を積極的に行う。

保健科学部

実施地区	実施日	会場名	場所	最寄り駅
九州会場	7月16日(土)	アクロス福岡	福岡県福岡市	天神駅
北海道会場	7月18日(月) 祝日	アスティ 45 ビル	北海道札幌市	札幌駅
東海会場	7月23日(土)	河合塾 16 号館名古屋校	愛知県名古屋市	名古屋駅
関西会場	7月24日(日)	大阪ガーデンパレス	大阪府大阪市	新大阪駅
夏のオープンキャンパス	7月30日(土) 8月21日(日)	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
秋のオープンキャンパス	10月28日(金)	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅

● 本学の平成 24 年度入学 試験日程表

